

## 第7回 日本安全保障貿易学会研究大会終了

第7回日本安全保障貿易学会研究大会は、2008年9月13日（土）に慶応義塾大学にて開催され、当日は70名を超える参加者があった。前日に引き続いて午前の部を自由論題セッションとして新進研究者による報告の場を設け、発表に対するコメント、討議を行なった。午後の部の第1セッションでは、技術移転に絡めて「大学における輸出管理」をテーマに、大学及び研究機関からの現状・実態などの報告が行なわれ、輸出管理を実施するにあたっての企業との相違点、大学が抱える課題、輸出管理規制のあり方、などに関して、活発な議論が交わされた。また、第2セッションでは、最近注目を集めている「M&A、外資規制、安全保障管理」問題を取り上げ、安全保障にかかわる外資規制の現状、課題、提言についての報告に続き、フロアからも多くの質問・意見が出され、産、学、官を交えた白熱した議論が展開された。いずれのテーマも、日本における安全保障貿易の本質にふれる問題を含むトピックであり、参加者の関心がきわめて高かったことが印象的であった。

2008年9月

日本安全保障貿易学会会長 村山裕三



会場風景

## 第7回研究大会プログラム

### ■午前の部 自由論題セッション 10:30～11:30

報告者：高山嘉顕氏（青山学院大学）・・・・・・・・・・資料1

「MANPADS (Man-portable air defense systems) 対策の国際的取り組み－

国際レジーム論の視点から－ (International Efforts to Counter MANPADS:

From View of the Theory of International Regime"」

討論者：村山裕三氏（同志社大学）

司会：村山裕三氏（同志社大学）

### ■午後の部

#### 第1セッション：「大学における輸出管理」 13:00～15:00

報告者：吉田匡氏（東北大学）・・・・・・・・・・資料2

「大学の輸出管理体制構築に関する現状 (Current Situation Regarding

Introduction of Export Control Scheme at Japanese Universities)」

報告者：樋口禎志氏（産業技術総合研究所）・・・・・・・・・・資料3

「大学・研究機関の輸出管理について (Security Export Administration by

Japanese Universities and Research Institutes)」

討論者：平井進氏（東北大学大学院）

司会：浅田正彦氏（京都大学）

休憩 15:00～15:15

#### 第2セッション：「M&A、外資規制、安全保障管理」 15:15～17:30

報告者：村山裕三氏（同志社大学）・・・・・・・・・・資料4

「安全保障にかかわる外資規制：経済と安全保障のバランスを求めて

(Security Restrictions on Foreign Direct Investment: Balancing

Economic and Security National Interests)」

報告者：長谷川直之氏（内閣府）・・・・・・・・・・資料5

「外資規制と安全保障貿易管理 (FDI and Export Control)」

報告者：武井一浩氏（西村あさひ法律事務所）・・・・・・・・・・資料6

「実務現場で生起している諸論点について (From the Perspective of 資料6-1

Corporate and M&A Practice) 」 資料6-2

討論者：橋本弘二氏（日本機械輸出組合）

司会：宗行伸太郎氏（日本機械輸出組合）

## 第16回アジア輸出管理セミナー 学会活動についての講演終了報告

日本安全保障貿易学会は、2月17日(火)～2月19日(木)に東京で行われた「第16回アジア輸出管理セミナー」に於いて、2月17日午前中の部で“Significance of Export Control Systems under the Export-Oriented Economy”と題して講演を行った。(アジェンダ、講演資料は下線部をクリック) 今後もこのような機会を積極的に活用しアジア輸出管理セミナーと学会との交流を図りながら学会活動の国際的展開を進めていきたい。

日本安全保障貿易学会会長 村山 裕三



第16回アジア輸出管理セミナー 村山会長講演及び質疑応答

## 第8回 日本安全保障貿易学会研究大会終了

第8回日本安全保障貿易学会研究大会は、2009年3月21日（土）に京都大学にて開催され、当日は約70名の参加者があった。前回に引き続いて午前の部を自由論題セッションとして新進研究者による報告の場を設け、今回も新しい分野から「近年の兵器移転規制と武器貿易条約」と「自律型水中無人ロボットの使用における適用法の考察」をテーマに、発表、コメント、及び討議を行なった。午後の部の第1セッションではメディア報道にもあるように最近特に関心の高い「核技術と闇取引による核拡散問題」を取り上げ、また午後の部の第2セッションでは核拡散に関連して「インド・パキスタン・アフガニスタン情勢」について発表を行った。午後の2つのセッションを通じて、兵器拡散の現状、課題、提言についての報告に続き、フロアからも多くの質問・意見が出され、産、学、官を交えた白熱した議論が展開された。いずれのテーマも、兵器の拡散問題や日本における安全保障貿易の役割などに関連したトピックであり、密度の濃い議論が行われたことが印象的であった。

2009年3月

日本安全保障貿易学会会長 村山裕三



会場風景

## 第8回研究大会プログラム

- ・ 午前の部 自由論題セッション(一般公募) 10:00～12:00  
報告者：夏木碧氏 (特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン)  
「近年の兵器移転規制と武器貿易条約」  
(Recent Transfer Control Initiatives and the Arms Trade Treaty)  
討論者：青木節子氏 (慶応義塾大学)  
報告者：佐々木利章氏 (京都大学大学院)  
「自律型水中無人ロボットの使用における適用法の考察」  
(A Study of the Applicable Law on Autonomous Underwater Vehicle Operation)  
討論者：平井進氏 (東北大学大学院)  
司会：浅田正彦氏 (京都大学)

### ・ 午後の部

- 第1セッション：核技術と闇取引による核拡散問題 13:00～15:00  
報告者：堀 雅人氏 (日本原子力研究開発機構)  
「核兵器利用可能物質の製造技術と民生用技術」  
(Production of Nuclear Weapon Usable Material and Civilian Technologies)  
報告者：吉田文彦氏 (朝日新聞社)  
「カーン・ネットワークが残した教訓」  
(Lessons from A.Q. Khan Network)  
討論者：中込良廣氏 (京都大学)  
司会：浅田正彦氏 (京都大学)

休憩 15:15～15:30

- 第2セッション：インド・パキスタン・アフガニスタン情勢と兵器拡散問題  
15:30～17:30

- 報告者：萬宮健策氏 (大阪大学)  
「アフガニスタンおよびパキスタンの治安情勢分析」  
(Analysis on the security situation of Afghanistan and Pakistan)  
報告者：宮田 律氏 (静岡県立大学)  
「イスラム過激派をめぐるインド・パキスタン関係の緊張について」  
(The Tension Between India and Pakistan regarding “Islamic Radicals”)  
討論者：佐藤丙午氏 (拓殖大学)  
司会：田中信介氏 (川崎重工業)